



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ
WEEKLY REPORT

2009～2010 年度 高山中央 RC 会長テーマ 「 聞・思・修 」

◆会長 橋本 修 ◆幹事 岩垣津 亘 ◆会報委員長 長瀬 栄二郎 ◆会報担当 田中 雅昭

創立 1991 年 5 月 20 日

- ◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
- ◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
- ◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
- ◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 820 回	50 名	45 名	34 名	—	75.56%
前々回 818 回	50 名	45 名	40 名	1 名	91.11%

<点 鐘> 会長 橋本 修
<ソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 橋本 修

いよいよ今年も一年を振り返る頃となりましたが、皆様方にとってこの一年は、どの様な年になりましたでしょうか。私の 2009 年 1 月 1 日に“本年の抱負”というページに書きました。
内容を恥ずかしながら公開したいと思います。



大項目として、3 件

- ・ 60 歳からの大転換!!
- ・ 自己管理能力を高める!!
- ・ 謙虚さと慎重さ!!

具体的には

1. 減量・休肝・散歩(健康維持)
2. 短時間の処理(集中力を高める)
3. 日々感謝(基本的な日常生活に)

以上、振り返ってみますと何も出来ていない事がよくわかりました。現実可能な事でもなかなか遂行できない意思の弱さが露呈しました。

来年度も引き続き、スローガンを同じにして、何とか全うしたいと思います。

又、世の中におきまして、今年の漢字は“新”でありましたが、なかなか“明”あかるいという字が出てきません。来年は“暗”くらくならなければと懸念しております。さて、わがロータリークラブも、来週は X'mas 例会、その後は休会になります。本日は、定例会としての最後という事で。前半を振り返ってみたいと思います。

3 点に絞りたいと思います。まず第一に、中央 RC 始まって以来の一度に 4 名の新会員さんを迎えての入会セレモニーがありました。それ以来、新入会員さんには多くの出番がありましたが、したたかな四天王は、そつなく何の違和感もなく堂々とこなされました。立派というほかございません。後半も、出番に備えて、精進してまいります様をお願いします。

二つ目は、夜例会があります。今晚は二回目ですが、定着するかどうかはいろいろな意見がございますので、来年度は協議していただき、よい方向にもっていただければと思います。

最後は、“高校生 Live in 高山”を開催した事です。

RC の理念に基づいて行事を遂行するという事がいかに難しいかを強く感じました。

いずれにしても、あと半期残っておりますので、気を抜かずに会長職を全うしたいと思っております。皆様方のご協力をより一層お願い申し上げます。

<本日のプログラム>
国際奉仕委員会

新井 委員長

今回は二回目の委員会ではありますが、今月のさるぼぼの中に永家さんが出ています。その中に全国 6 社の業者による交流の中でカンボジアに学校を造ろうと言う内容の話が出ていましたので今回は是非永家さんにお話しをしていただきたく思い今回の卓話をお願いしました。それでは永家さんお願いいたします。

＜卓話＞

カンボジアの子供たちから学ぶ

永家 将嗣 会員

皆さん今晚は、本日は国際奉仕委員会よりカンボジアに学校を建てた話をしてほしいとの依頼を受けました。私としては自分がカンボジアで体験したことや感じたことを、一人でも多くの人にお伝えしたいと考えていましたので喜んでお引き受けをしました。



まず一番最初にお話をさせていただくことは、グレートビルダーズという組織についてです。もしこのグレートビルダーズが存在しなかったらこの活動はありませんでした。グレートビルダーズとは、青森・埼玉・千葉・石川・島根・高山に所在する住宅建築をしている仲間が集まり会社組織にしました。そして定期的に勉強会や情報交換などを行い、より良い家作りを目指して互いに切磋琢磨しています。2年半前の勉強会の折に自分たちが仕事を通じて社会に貢献できることはないか、と模索した時「JHP・学校を作る会」のことを知りました。そして勉強をするなかでカンボジアという国が日本と縁が深いことを知り、またポルポト政権下で教育がめちゃくちゃにされ今の日本とはすべての面で、あまりにも違いすぎる事実を知りました。そこで実際に現地を訪ねてみると子供は貴重な労働力で、勉強したくても学校が近くになく あったとしても雨露を防ぐのがやっとの状態でした。そして子供たちはみな純粋で素直な目をしていたのが印象に残りました。



帰国後、寄付を募り始めました。グレートビルダーズのメンバーは1棟の住宅を建てるごとに1万円の寄付をするとともに、取引先などにも呼びかけ約2年間で800万円近いお金が集まりました。建設したのは首都プノンペンから

車で約100分離れたコンボンスプー県で「ピートゥヌー小学校」といいます。生徒が1200名の学校で木造の古ぼけた校舎が4棟建っていました。授業は午前10時～12時と午後2時～4時の2回に分けて1200名の生徒が2交代で授業を受けています。そして水が不足して人々は濁った水を飲んでいました。子供たちも例外ではありません、我々は井戸を掘り飲み水の確保と、雨水を利用した簡易水洗のトイレも造りました。建設にあたってはJHPが現地の人の仕事の確保を考えて地元の人達が働けるように配慮しました。ついに我々の想いがこもった小学校が今年の6月に完成しました。そして10月20日「ピートゥヌー小学校」の贈呈式にグレートビルダーズのメンバーが参加しました。車2台に分乗して学校に着くと私たちの車の周りにカンボジアの国旗を持ったたくさんの子供たちに出迎られました。式典が始まると政府の高官や教育関係者も列席しましたが、一番印象に残ったのが生徒たちの代表の挨拶でした。

「学校を作って下さり、ありがとうございます。大事に使っていきます。私たちは一生懸命勉強してこの国のために頑張ります」・・・我々日本人は恵まれすぎているのではないのでしょうか、カンボジアはまだまだ貧しい国だけど、いじめや登校拒否もなく皆 家族や地域の人と助け合って生きています。年長の子は年下の子の面倒をみる、高齢者をいたわること、これらは当たり前のこととなっています。我々日本人も今の環境があたりまえと思わず感謝の心を養いたいものです。





<例会変更について>

橋本 会長

今晚は、予定としまして当初は

・国際奉仕の担当の時間に、来年予定しておりました、チャリティーコンサートに対しての色々な意見を出していただく、テーブルディスカッションのつもりでいました。

・それに向けて大まかな道筋を組む様に多方面から検討してまいりました。

☆まずはコンセプト（なにが目的でこれをやるのか）

チャリティーコンサートと銘を打つ

- ・ポリオ撲滅に寄附する（基金を集める方法）
- ・一般の人にポリオを知っていただく
- ・中央ロータリークラブをPRする
- ・国際奉仕、社会奉仕、各委員会の行事とする

以上結果R I 会長賞活動項目をマスターする

☆それを実現するにはどうする

コンサートとする

- ・一般の方々を集客する能力のあるゲストを呼ぶ
- ・地元のアーティストに多く出演してもらう

お客さんを呼ぶ方法として

- ・有名なタレントさんに来てもらう

文化会館（市街地）にこだわる

世界文化センターは集客しにくいのでは

☆ゲスト選出

R財団学友委員長 渡辺忠彦さんを通じて

①下垣真希（下呂RC）、R財団奨学生

<予算交渉>別会社

②タレント（つぼいのりお）（小松辰雄）

（高田 CBC アナウンサー）

3人にて“トークショー”検討、交渉しましたが、ま
とまらず

◎社会奉仕事業として

（地元の福祉施設訪問）Rバンド出前演奏

◎国際奉仕事業として

在日外国人との交流〔（日・韓）（日・中）（日・豪）〕
会を主催する

◎来年度の宿題として持ち越しになりました。

<ニコニコBOX>

12月19日妻の誕生日に花束を頂きありがとうございました。
水川 巧

ニコニコ当番よりニコニコへ。

永田 富次

前回例会を欠席してすみませんでした。ペコペコという事
でニコニコへ。
坂家 賢司